

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月6日
【四半期会計期間】	第23期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
【会社名】	モーニングスター株式会社
【英訳名】	Morningstar Japan K.K.
【代表者の役職氏名】	代表取締役執行役員社長 朝倉智也
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木一丁目6番1号
【電話番号】	03(6229)0810
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理部長 小川和久
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木一丁目6番1号
【電話番号】	03(6229)0810
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理部長 小川和久
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第22期 第2四半期連結 累計期間	第23期 第2四半期連結 累計期間	第22期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	3,230,428	3,333,100	6,004,360
経常利益 (千円)	981,276	1,013,349	1,777,236
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	645,592	685,072	1,220,379
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	584,067	557,342	1,036,410
純資産額 (千円)	9,449,589	9,359,468	9,443,217
総資産額 (千円)	10,427,404	11,427,593	11,077,379
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	7.81	8.26	14.74
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	90.6	81.3	84.5
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	355,208	158,528	1,137,768
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	214,805	496,983	2,014,090
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	785,869	377,829	1,324,879
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	5,704,248	3,846,082	4,147,757

回次	第22期 第2四半期連結 会計期間	第23期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	2.94	3.34

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
 また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

(1) 連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)の連結業績は、売上高が前年同四半期(2018年4月1日～2018年9月30日)の3,230百万円から102百万円(3.2%)の増収となる3,333百万円となりました。

また、売上原価は、前年同四半期の1,919百万円から398百万円(20.8%)減少し1,520百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同四半期の405百万円から540百万円(133.3%)増加し946百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、前年同四半期の905百万円から39百万円(4.4%)の減益となる865百万円となりました。

営業外損益は、前年同四半期と比べ、純額で71百万円増加し、その結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益は、前年同四半期の981百万円から32百万円(3.3%)の増益となる1,013百万円となりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期の645百万円から39百万円(6.1%)の増益となる685百万円となりました。

[業績の概要]

	2019年3月期第2四半期 連結累計期間		2020年3月期第2四半期 連結累計期間		増減	
	金額(千円)	利益率	金額(千円)	利益率	金額(千円)	比率
売上高	3,230,428		3,333,100		102,672	3.2%
営業利益	905,446	28.0%	865,790	26.0%	39,655	4.4%
経常利益	981,276	30.4%	1,013,349	30.4%	32,072	3.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	645,592	20.0%	685,072	20.6%	39,480	6.1%

連結売上高は8期連続の増収、3期連続で過去最高売上を更新しました。

経常利益は10期連続の増益、8期連続の最高益を記録しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は10期連続の増益、5期連続の最高益を記録しました。

セグメント別売上高、サービス別売上高は、以下のとおりであります。

セグメント別売上高	前第2四半期連結累計期間 2018年4月1日から 2018年9月30日まで		当第2四半期連結累計期間 2019年4月1日から 2019年9月30日まで		増加率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
ファイナンシャル・サービス事業					
データ・ソリューション	859,049	26.6	961,797	28.9	12.0
メディア・ソリューション	536,044	16.6	557,317	16.7	4.0
計	1,395,094	43.2	1,519,115	45.6	8.9
アセットマネジメント事業					
アセットマネジメント	1,835,334	56.8	1,813,985	54.4	1.2
計	1,835,334	56.8	1,813,985	54.4	1.2
連結売上高	3,230,428	100.0	3,333,100	100.0	3.2

1) ファイナンシャル・サービス事業

・データ・ソリューション

タブレットアプリの提供台数が前年同四半期の59,647台から41.9%増加し84,670台となったことなどにより、ファンドデータの売上が増加いたしました。一方、株式新聞購読料、ファンドレポートの売上が減少しました。その結果、データ・ソリューションの売上高は、前年同四半期の859百万円から102 百万円 (12.0%)の増収となる961百万円となりました。

・メディア・ソリューション

ウェブ広告や資産運用セミナーなどを統合的に提供するメディア・ソリューションの売上が前年同期と同水準を維持し、ウェブ・コンサルティングの売上が増加いたしました。

その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同四半期の536百万円から21 百万円 (4.0%)の増収となる557百万円となりました。

2) アセットマネジメント事業

・アセットマネジメント

新規子会社Carret Asset Management LLCの信託報酬が新たに加わりました。一方、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するファンドの純資産額が、前年同四半期末の3,045億円から18.3%減少し2,489億円となり、投資委託者報酬が減少いたしました。

その結果、アセットマネジメントの売上高は、前年同四半期の1,835百万円から21 百万円 (1.2%)の減収となる1,813百万円となりました。

セグメント別には、ファイナンシャル・サービス事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の1,395百万円から124百万円(8.9%)の増収となる1,519百万円となりました。

セグメント利益は、前年同四半期の573百万円から75百万円(13.2%)の増益となる649百万円となりました。

アセットマネジメント事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の1,835百万円から21百万円(1.2%)の減収となる1,813百万円となりました。

セグメント利益は、前年同四半期の331百万円から115百万円(34.7%)の減益となる216百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

資産合計は前連結会計年度末と比較して350百万円増加し、11,427百万円となりました。

これは、流動資産が59百万円増加し、固定資産が290百万円増加したものであります。

流動資産の増加は、現金及び預金が固定資産への投資、配当などで301百万円減少し、一方売掛金が343百万円増加したことによるものであります。

固定資産の増加は、主として投資有価証券及びソフトウェアへの投資が前年同四半期に比べ各々161百万円、145百万円増加したためであります。

負債合計は、433百万円増加し、2,068百万円となりました。

負債の増加は、主として、1,000百万円の銀行借入をしたことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間に685百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益が計上され、621百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が63百万円増加し、4,465百万円となりました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して83百万円減少し、9,359百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,858百万円減少し、3,846百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期と比べ、513百万円減少し、158百万円の支出となりました。

これは、主として、税金等調整前四半期純利益1,013百万円の計上、法人税等の支払額266百万円、売上債権の増加351百万円及び未払金の減少577百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期と比べ、282百万円減少し、498百万円の支出となりました。

これは、主として、投資有価証券の売却による収入2,006百万円及び取得による支出2,237百万円のほか、無形固定資産の取得による支出が252百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期に比べ、1,163百万円増加し、377百万円の収入となりました。

これは、短期借入による収入1,000百万円と、配当金の支払622百万円によるものであります。

(4) 事業上および財務上の当社が対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	315,600,000
計	315,600,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年11月1日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	83,973,600	83,973,600	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	83,973,600	83,973,600		

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	83,973,600	-	2,115,620	-	2,506,927

(5)【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 (自己株式 を除く。) の総数に対 する所有株 式数の割合 (%)
SBI グローバルアセットマネジメント株式会社	東京都港区六本木1丁目6-1	39,466,100	47.6
モーニングスター・インク (常任代理人 大和証券株式会社)	米国イリノイ州シカゴ市ウェストワシントンストリート22 (常任代理人住所) (東京都千代田区丸の内1丁目9番1号)	25,168,400	30.4
ザ バンク オブ ニューヨーク (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	(常任代理人住所) (東京都港区港南2丁目15-1)	2,237,700	2.7
鈴木 智博	石川県金沢市	1,590,000	1.9
富春 勇	広島県広島市西区	1,083,000	1.3
J P MORGAN CHASE BAN K 380634 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	(常任代理人住所) (東京都港区港南2丁目15-1)	420,100	0.5
STATE STREET BANK A ND TRUST COMPANY 50 5223 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	(常任代理人住所) (東京都港区港南2丁目15-1)	407,003	0.5
朝倉 智也	東京都港区	378,400	0.5
MSIP CLIENT SECURIT IES (常任代理人 モルガン・スタンレーMU FG証券株式会社)	(常任代理人住所) (東京都千代田区大手町1丁目9-7)	300,000	0.4
BBH FOR BBHTSIA FID ELITY COMMON CONTRA CTUAL FUND II - JAP EQ-LIN TRAIN (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	(常任代理人住所) (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	288,000	0.3
計	-	71,338,703	86.1

(注) 当社は、自己株式を1,081,170株保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

(6) 【議決権の状況】
 【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,081,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 82,889,000	828,890	-
単元未満株式	普通株式 3,500	-	-
発行済株式総数	83,973,600	-	-
総株主の議決権	-	828,890	-

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
モーニングスター 株式会社	東京都港区六本木 一丁目6番1号	1,081,100	-	1,081,100	1.29
計		1,081,100	-	1,081,100	1.29

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,147,460	3,845,786
売掛金	1,137,767	1,480,922
たな卸資産	17,501	132,695
その他	169,770	162,815
流動資産合計	5,462,500	5,522,219
固定資産		
有形固定資産	271,993	275,941
無形固定資産		
のれん	1,262,507	1,217,298
ソフトウェア	768,153	913,308
その他	216,073	250,010
無形固定資産合計	2,246,734	2,380,617
投資その他の資産		
投資有価証券	2,845,712	3,006,752
繰延税金資産	242,165	216,312
その他	208,272	225,749
投資その他の資産合計	3,296,150	3,448,814
固定資産合計	5,614,878	5,905,373
資産合計	11,077,379	11,427,593

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,832	30,566
未払金	1,101,187	568,106
短期借入金	-	1,000,000
未払法人税等	318,722	301,726
未払消費税等	24,954	33,679
その他	131,463	133,912
流動負債合計	1,634,161	2,067,991
固定負債		
繰延税金負債	-	133
固定負債合計	-	133
負債合計	1,634,161	2,068,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,115,620	2,115,620
資本剰余金	3,370,457	3,370,457
利益剰余金	4,402,481	4,465,861
自己株式	186,865	186,865
株主資本合計	9,701,693	9,765,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	348,602	437,071
為替換算調整勘定	6,727	40,826
その他の包括利益累計額合計	341,875	477,898
非支配株主持分	83,399	72,293
純資産合計	9,443,217	9,359,468
負債純資産合計	11,077,379	11,427,593

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	3,230,428	3,333,100
売上原価	1,919,396	1,520,904
売上総利益	1,311,032	1,812,195
販売費及び一般管理費	1,405,585	1,946,405
営業利益	905,446	865,790
営業外収益		
受取利息	77,012	57,315
受取配当金	30	99,035
その他	2,018	871
営業外収益合計	79,060	157,221
営業外費用		
支払利息	-	7,395
為替差損	260	334
持分法による投資損失	2,554	1,804
その他	414	128
営業外費用合計	3,230	9,662
経常利益	981,276	1,013,349
特別利益		
新株予約権戻入益	1,494	-
特別利益合計	1,494	-
特別損失		
事務所移転費用	2,863	-
特別損失合計	2,863	-
税金等調整前四半期純利益	979,907	1,013,349
法人税、住民税及び事業税	289,354	273,953
法人税等調整額	44,960	46,030
法人税等合計	334,315	319,984
四半期純利益	645,592	693,365
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	8,293
親会社株主に帰属する四半期純利益	645,592	685,072

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	645,592	693,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61,525	88,469
為替換算調整勘定	-	47,553
その他の包括利益合計	61,525	136,022
四半期包括利益	584,067	557,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	584,067	555,852
非支配株主に係る四半期包括利益	-	1,490

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	979,907	1,013,349
減価償却費	83,341	117,617
長期前払費用償却額	2,453	2,210
のれん償却額	11,350	36,846
受取利息及び受取配当金	77,042	156,350
移転費用	2,863	-
支払利息	-	7,395
新株予約権戻入益	1,494	-
為替差損益(は益)	126	90
持分法による投資損益(は益)	2,554	1,804
売上債権の増減額(は増加)	238,607	351,064
たな卸資産の増減額(は増加)	17,918	12,426
仕入債務の増減額(は減少)	7,223	27,265
未払金の増減額(は減少)	110,016	577,755
その他の流動資産の増減額(は増加)	708	5,973
その他の流動負債の増減額(は減少)	11,309	24,698
小計	618,024	72,997
利息及び配当金の受取額	44	43,923
利息の支払額	-	14,790
法人税等の支払額	263,659	266,803
法人税等の還付額	799	6,144
営業活動によるキャッシュ・フロー	355,208	158,528
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	16,741	4,175
無形固定資産の取得による支出	199,387	252,230
投資有価証券の売却による収入	13,655	2,006,500
投資有価証券の取得による支出	12,331	2,237,100
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	9,977
敷金及び保証金の回収による収入	6,000	-
敷金及び保証金の差入による支出	6,000	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	214,805	496,983
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	1,000,000
ストックオプションの行使による収入	119,509	-
配当金の支払額	905,378	622,170
財務活動によるキャッシュ・フロー	785,869	377,829
現金及び現金同等物に係る換算差額	126	23,992
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	645,339	301,674
現金及び現金同等物の期首残高	6,349,588	4,147,757
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 5,704,248	1 3,846,082

【注記事項】

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
仕掛品	1,551千円	28,195千円
貯蔵品	5,950	4,500

2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
	347,576千円	355,463千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
従業員給与	105,682千円	376,507千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
現金及び預金勘定	5,703,951千円	3,845,786千円
証券口座預け金(その他流動資産)	296	296
3ヶ月超の定期預金	-	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,704,248	3,846,082

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2018年5月18日 取締役会	普通株式	利益剰余金	906,893	11.00	2018年3月31日	2018年6月1日

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生予定日
2018年9月21日 取締役会	普通株式	利益剰余金	538,801	6.50	2018年9月30日	2018年12月3日

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2019年5月17日 取締役会	普通株式	利益剰余金	621,693	7.50	2019年3月31日	2019年6月3日

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生予定日
2019年8月28日 取締役会	普通株式	利益剰余金	580,247	7.00	2019年9月30日	2019年11月15日

(セグメント情報等)
 【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナン シャル・サー ビス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,395,094	1,835,334	3,230,428	-	3,230,428
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,514	-	13,514	13,514	-
計	1,408,608	1,835,334	3,243,942	13,514	3,230,428
セグメント利益	573,808	331,638	905,446	-	905,446

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナン シャル・サー ビス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,519,115	1,813,985	3,333,100	-	3,333,100
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,319	-	18,319	18,319	-
計	1,537,434	1,813,985	3,351,420	18,319	3,333,100
セグメント利益	649,266	216,524	865,790	-	865,790

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する項)

(単位:千円)

売上高	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	3,243,942	3,351,420
セグメント間取引消去	13,514	18,319
四半期連結損益計算書の売上高	3,230,428	3,333,100

(単位:千円)

利益	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	905,446	865,790
セグメント間取引消去	-	-
四半期連結損益計算書の営業利益	905,446	865,790

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	7円81銭	8円26銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	645,592	685,072
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	645,592	685,072
普通株式の期中平均株式数(株)	82,711,882	82,892,430
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)		
普通株式増加数(株)		
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものではありません。	

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2019年8月28日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....580,247千円

(ロ) 1株当たりの金額.....7円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生予定日及び支払開始予定日.....2019年11月15日

(注) 2019年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月5日

モーニングスター株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小堀 一英 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 木村 尚子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているモーニングスター株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、モーニングスター株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。